

.....
おくちの
相談室
.....

【問】息子が小学校の歯科健診で「癒合歯」と言われました。どうしたらよいでしょうか。

（長崎市、36歳女性）

【答】歯科健診をしていると、しばしば癒合歯を見かけます。あまり聞きなれない言葉なので、どのようなもので、どんな影響があるのか気になりますよね。

癒合歯は、歯の形の異常の一つです。赤ちゃんがお母さんのおなかの中にいる頃、口の表面の細胞（上皮細胞）が中に入り込むことで、歯の赤ちゃんもでき始めます。これを「歯胚」といいます。歯胚が数カ月〜数年の期間をかけて顎の中で成長し、やがて歯として口の中に生えてきます。

その成長の途中で、隣にある別の歯胚とくっついてしまい、一部が合体して生えてきた歯を

癒合歯

隣同士くっついて生える

癒合歯と呼びます。合体の程度が象牙質に到達していないものなどは、癒着歯と呼ぶこともあります。癒合歯がある人の割合は乳歯で1・2〜3・3%、永久歯で0・3%程度との報告があり、前歯でよく見られます。癒合歯への対応ですが、合体しているところに溝ができていれば、そこに汚れがたまりやすいため指導を行うことがあります。正常な位置にむし歯もなく生えている場合は、特に治療は行わず経過観察となることが多いです。

ただし乳歯の場合、生えかわりの時期にうまく根が吸収されず、遅い時期まで乳歯が残ってしまうことがあり、歯並びに影響を及ぼす可能性があります。

また、乳歯の癒合歯のうち約40%は、後から生えてくるはずの永久歯（後継永久歯）がもともと欠如（先天性欠損）しており、注意が必要です。

これらはエックス線写真などの検査をして明らかになることで、歯科健診ではわかりませんが、かかりつけの歯科医院を受診して、後継永久歯の有無や歯列不正の可能性などを診てもらうことをお勧めします。

回答者
まつもと 松本 浩志



扇町歯科医院院長

（長崎市扇町）

質問をどうぞ

歯と口の健康に関する質問を受け付けます。県歯科医師会の先生方が回答します（直接本人に回答はしません）。症状などを分かりやすくまとめ、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記し、〒852-8601、長崎市茂里町3の1、長崎新聞社生活文化部「お口の相談室」係に送ってください。県歯科医師会のホームページは「8020ながさき」で検索できますので参考にしてください。